

□ 要請番号 (JL02617A10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
東ティモール	H132 公衆衛生		個別	新規	2年	・ 2017/3 ・ 2018/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ディリ県保健局

3) 任地 (ディリ) JICA事務所の所在地 (ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

当局は保健省の管轄のもと、2000年に設立された。感染症、非感染症、母子保健、健康教育増進、環境衛生と薬剤の6つの課がある。当局が管轄する首都の6地区には6つの保健センター、実施されている業務として移動健診(SISCa)等がある。県の医療従事者(医師・看護師・助産師・歯科医・歯科衛生士・臨床検査技師・薬剤師など)が、県内住民約25万人の健康を支えている。保健省からおりてくる年間予算は1700万円程度。NGO、国連機関などから物品支援を受けている。過去に保健省配属の栄養士隊員が週2の割合で活動していたほか、現在コミュニティ開発隊員が健康教育増進にてSISCaプログラムに関わっている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同局ではヘルス・コミュニティ・プログラムを実施しており、栄養プログラムはその1つである。また県内には31の村があり、21か所で毎月定期的に移動健診が実施されている。県の医療環境は総体的には改善されつつあるが、住民の健康(特に栄養)に対する意識はまだ高いとは言えない。医療関係者の数も十分ではないため、住民の健康への意識・知識を村レベルで高めるには、各村に配置している保健ボランティアやコミュニティリーダーとの共働と、彼らが村レベルで機能していけるための意識・能力向上が不可欠である。保健ボランティアやコミュニティリーダーの意識・知識向上が必要とされることから、ボランティア派遣が要請された。母子保健課に所属し、主に栄養面に関する啓発予防活動や栄養不良児のモニタリング改善に寄与できるJVが求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.住民の健康促進と予防に関するプログラムのモニタリングを行う。またその際のツール(チェックリストや栄養不良児のマッピングなど)を作成・更新し、栄養不良児が確実に特定・フォローされ、必要が生じたら入院できるように図る。
 - 2.栄養に関するデータ収集・分析や報告書作成、資料整理など、管理体制向上支援も期待されている。
 - 3.各村にいるコミュニティリーダーや保健ボランティア、保健センタースタッフ、同僚と協力しながら課題解決を図る。とくにコミュニティリーダーと協働し、彼らが住民に啓発できるように支援することが期待されている。
- ※保健省配属で広報媒体を作成するJVや栄養課のJV、地方の保健局配属のJVと連携し、より効果的に栄養改善に関わる活動ができるよう工夫する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、車両、プリンター、プロジェクター、スクリーン、マイクなど
モニタリング用チェックリストあり(更新可)

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・局長(女性、40代、大卒)、職員32名(女性17名、男性15名)
- ・母子保健課4名(栄養士:男性40歳、経験8年 ※CP予定/助産師:女性3名)
- ・ヘルスセンター・ヘルスポストの医療関係者(男女、20-50代)
- ・保健ボランティア(約75名)

5) 活動使用言語

インドネシア語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：()

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：実践的な栄養改善を図るため

[参考情報]：

- ・栄養と公衆衛生に関する基礎知識

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(23~32℃位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(不安定)

【特記事項】

実際の活動や生活では生活言語(テトゥン語)を使用するため、任地到着後に学習する。